# 教員の養成の状況に係る情報の公表について

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

(1) 教員養成の目標

秋草学園短期大学は、昭和54年に幼児教育学科第一部・第二部を開設し、幼稚園教諭の養成に取り組んできました。また、平成11年からは専攻科幼児教育専攻（大学改革支援・学位授与機構認定/令和2年3月廃止）において幼稚園教諭一種免許状を有する教員の養成を、さらに平成19年には地域保育学科においても3年課程による幼稚園教諭の養成を開始しました。

秋草学園短期大学の建学の理念は「愛され信頼される女性の育成」です。また、教育目標は「豊かな人間性と高い実践力を備えた、地域に貢献できる人材を育成する」ことです。

秋草学園短期大学の教員養成も、この建学の理念と教育目標に基づいています。つまり、「人に愛され信頼される教員」の養成、「豊かな人間性と高い実践力を備え、地域に貢献できる教員」の養成、これが秋草学園短期大学の教員養成の理念です。

教員養成の理念を実現するため、以下の目的に重点を置いて教員養成を行います。

(a) 教育者としての豊かな人間性の育成
(b) 教員に求められる高い実践力の養成
(c) 教員として地域に貢献できる人材の育成

(2) 教員養成の計画

①幼児教育学科第一部

| 履修年次 | 履修時期 | 到達目標 |
|---|---|---|
| 1年次 | 前期 | 社会人として必要な教養と保育者に必要とされる基礎的な理論と技能を身に付ける。 |
| | 後期 | 保育者に必要とされる専門知識を身に付け、保育の場で必要とされる技能を高める。 |
| 2年次 | 前期 | 1年次に学んだ知識や技能を実践の場で応用できる力を身に付ける。 |
| | 後期 | 実習を通した学びから自己課題に取り組み、保育の場で必要とされる実践力を身に付ける。 |

②幼児教育学科第二部

| 履修年次 | 履修時期 | 到達目標 |
|---|---|---|
| 1年次 | 前期 | 教養教科を中心に、社会人に必要とされる教養と保育技能を身に付ける。 |
| | 後期 | 基礎技能を高め、保育者に求められる専門的知識を身に付ける。 |
| 2年次 | 前期 | 教育に関する理論や方法論について学び、保育実践との関係性について理解する。 |
| | 後期 | 教育実習の準備を核とした専門的知識と技能を身に付ける。 |
| 3年次 | 前期 | 専門的知識や技能を実践の場で応用できるようにする。 |
| | 後期 | 実習を通した学びから自己課題に取り組み、保育の場で必要とされる実践力を身に付ける。 |

③地域保育学科

| 履修年次 | 履修時期 | 到達目標 |
|---|---|---|
| 1年次 | 前期 | 教養科目での学びを通し、社会人基礎力や保育の基本的知識を身に付ける。 |
| | 後期 | 保育に必要とされる基礎技能を高め、保育内容科目について学ぶ、 |
| 2年次 | 前期 | 保育者として必要な専門科目を学ぶとともに、地域活動を通し保育ニーズについて学ぶ。 |
| | 後期 | 専門科目を中心に幼児教育に関する学びを深め、実習によりこれまでの学びをより具体的なものとして身に付ける。 |
| 3年次 | 前期 | 専門的知識や技能を実践の場で活かせる応用力を身に付ける。 |
| | 後期 | 保育を取り巻く多様な問題に目を向け、学びの集大成として卒業論文に取り組む。 |

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

①幼児教育学科（第一部・第二部）

| No. | 氏　名 | 学　位 | 業　　績 | 担当授業科目 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 大熊美佳子 | 家政学修士 | 1. 幼稚園教諭・保育士の成長過程に関する研究 単著 平成29年3月　秋草学園短期大学紀要第33号<br>2. グループワークにおける保育学生の協同作業認識と役割意識について　単著平成30年3月　秋草学園短期大学紀要第34号<br>3. 子ども観と子育て観についてー子育て経験の有無による比較ー　共著 平成30年8月　日本パーソナリティ心理学会第27回大会，立命館大学<br>4. 保育学生の学習継続動機づけ関する研究　単著 令和2年3月　秋草学園短期大学紀要　第36号<br>5. 保育・教育の方法と技術　Visual　Aid　ビジュアルエイド　共著　令和4年4月　大学図書出版 | 保育の心理学、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習指導Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習（幼稚園） |
| 2 | 志濃原亜美 | 修士<br>（社会福祉学） | 1.保育所における保護者支援の現状と課題①～保護者へのアンケートより～　共著　令和元年3月　秋草学園短期大学紀要　第35号<br>2.保育所と放課後児童クラブの連携のあり方の研究（1）～支援員へのインタビュー調査を中心として～　共著　令和2年3月　秋草学園短期大学紀要　第37号<br>3.災害時における保育実習・教育実習内容の一考察～新型コロナウィルス感染拡大防止下の実習に関する対応～　共著　令和3年3月　秋草学園短期大学紀要　第37号<br>4.「子どもの成長と発達」単著 令和7年1月『改訂版子どもとともにデザインする保育者論・教育者論』わかば社<br>5.「インクルーシブ保育と健康　①発達上つまづきのある子どもとのかかわり②家庭養育上困難を抱える子どもとのかかわり」単著　令和7年3月 『保育内容「健康」と指導法』中央法規 | 健康（指導法） |
| 3 | 小口偉 | 修士<br>（芸術学） | 1.異年齢保育における造形表現活動からの一考察　単著　平成28年3月　日本美術教育連合日本美術教育論集49号<br>2.A保育園での造形表現活動からの一考察　単著　平成29年3月　日本美術教育連合日本美術教育論集50号<br>3.保育学生の乳幼児期と児童期における造形表現のイメージに関する研究（第一報）-保育実習を通した学びのイメージの変容に着目して-<br>4.保育者養成課程における総合的な表現活動の試み「表現」に関わる教科の連携と実践を通してその可能性を探る<br>5.養成校学生の就職先決定理由の分析-実習園を就職先とする事例に着目して- | 造形表現（指導法） |
| 4 | 塩崎みづほ | 教育学修士 | 1.『保育者養成における身体表現活動の題材選択の課題～ICTを活用した事例より～』（共著）令和5年3月　白梅学園大学・短期大学情報教育研究<br>2.『運動特性に応じた体育領域別ICT活用アイデア』（共著）明治図書、令和4年12月<br>3. 遊んで育て！表現の力ー保育で使える活動例と指導法ー （共著）令和4年1月　推敲舎<br>4. 乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび～からだとこころを育む指導法（共著）令和4年2月　大学図書出版<br>5. 身体表現遊びの指導ノートを活用した指導法の授業の成果　単著　令和2年3月　秋草学園短期大学紀要第36号 | 音楽・身体表現、音楽・身体表現（指導法）教育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習指導Ⅰ・Ⅱ |
| 5 | 松木久子 | 教育学修士 | 1. ヘレン・パーカースト教育思想における「ドルトン・プラン」の着想　単著 平成22年10月　関東教育学会紀要第37号<br>2. 旧制小樽市中学校における吉田惟孝校長の教育思想の影響（1）　単著 平成24年12月　秋草学園短期大学紀要第29号<br>3. 旧制小樽市中学校における吉田惟孝校長の教育思想の影響（2）　単著 平成27年12月　秋草学園短期大学紀要第32号 | 教育原理、保育者論、教育社会学 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4. 道徳教育の教科化に関する一考察　単著<br>平成29年3月　秋草学園短期大学紀要第34号<br>5.「保育者になりたい人のためのワークブック　～秋草学園短期大学・幼児教育学科の歩き方～」 令和3年9月秋草学園短期大学・幼児教育学科 | |
| 6 | 丸橋聡美 | 修士<br>（人間生活学） | 1. 家庭支援の保育学（改訂・改題）　共著 平成22年4月　建帛社<br>2.「保育内容」授業連携～自然と子どもをむすぶ活動を通して～　共著 平成28年5月　日本保育学科第69回大会抄録集CD-ROM（発表ID16039）東京：東京学芸大学<br>3.「保育内容」と「保育所実習」の授業連携についての一考察から～「遊びのカード」の活用について～　単著 平成29年5月　日本保育学会第70回大会抄録集<br>4. 保育者養成校における保育内容「人間関係」と「表現」の授業連携について　共著 平成30年3月　秋草学園短期大学紀要34号<br>5.保育内容「人間関係」－「共に育つ・創る」をめざして－　共著令和6年9月　ミネルヴァ書房 | 人間関係、人間関係（指導法）、保育・教職実践演習（幼稚園） |
| 7 | 三好力 | 修士<br>（心理学） | 1. 保幼少連携におけるインクルーシブ教育システムとしてのICFの活用に関する一考察　単著　平成29年3月　秋草学園短期大学紀要33号<br>2. 教育相談におけるICFの運用についての一考察　単著 平成30年3月　秋草学園短期大学紀要34号<br>3. 両親からの呼称による情緒的発達と漸成発達理論に基づいた発達の効果　単著 平成30年3月　秋草学園短期大学紀要34号<br>4. 子ども家庭支援の心理学　共著 令和元年8月　みらい<br>5. なぜ？から探る　子どもの理解と援助　令和4年1月 | 子どもの理解と援助、教育相談 |
| 8 | 伊澤永修 | 商学士 | 1. 教員に求められる資質・能力の育成をめぐって－学びの振り返りを通して－　共著　令和2年3月　新渡戸文化短期大学こども教育研究所紀要　第15号<br>2. 領域「言葉」の指導法に関する研究－子どもの言葉を育む保育活動を通して－　共著 令和3年3月　新渡戸文化短期大学こども教育研究所紀要第16号<br>3. 子どもの言葉・姿にみる「道徳性」の育ち　単著　令和2年7月　日本国語教育学会国語教育研究№579<br>4. 子どもの言語感覚を育てるために　単著　令和3年5月　日本国語教育学会国語教育研究№589<br>5.他者との対話から生まれる探究的な学び　単著　令和4年5月　日本国語教育学会国語教育研究№601 | 言葉、言葉（指導法）、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習指導Ⅰ・Ⅱ |
| 9 | 関維子 | 修士<br>（社会福祉学） | 1. 重度知的障害者のグループホーム入居に対する親の態度-重度知的障害のある人の生活の場の移行に関する研究①　単著　令和4年4月　秋草学園短期大学紀要38号<br>2. 重度知的障害者のグループホーム入居に対する親の態度-重度知的障害のある人の生活の場の移行に関する研究①　単著　令和4年4月　秋草学園短期大学紀要38号<br>3. 保育現場における特別支援、共著、令和5年2月、教育情報出版<br>4. 保育内容指導法　共著　令和5年6月　萌文書林<br>5. 乳幼児と人間関係　共著　令和5年10月　萌文書林 | 特別支援教育論 |
| 10 | 長谷川恭子 | 修士<br>（音楽教育） | 1. 江古田小学校における桜井富夫の譜読指導－低学年に着目して－　単著　平成23年12月日本音楽教育学会『音楽教育学』41(2)　1-12<br>2. 保育の表現技術実践ワークーかんじる・かんがえる・つくる・つたえるー　共著　平成28年3月　保育出版社<br>3. 幼児の音楽教育における「美しさ」の在り方に関する一考察　単著　平成28年3月　実践女子大学生活科学部紀要第53号 | 音楽・身体表現、音楽・身体表現（指導法） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4. わらべ歌遊びにおける幼児の音楽的成長について－異年齢保育でのコミュニケーションの分析をとおして－　単著　令和3年3月　秋草学園短期大学紀要第37号<br>5. 遊んで育て！表現の力－保育で使える活動例と指導法－　共著　令和4年1月　推敲舎<br>6. 音楽の基礎と楽しい伴奏　入門編　幼稚園教諭・保育士・小学校教諭・養成校のために　編著　令和5年2月　スタイルノート | |
| 11 | 豊泉尚美 | 文学修士 | 1. デンマークの自然こども園における就学前の保育内容について　単著　平成26年3月　秋草学園短期大学紀要第30号<br>2. 地球市民を育てる～子どもと自然をむすぶ～　共著　平成28年4月　圭文社<br>3. プロジェクト活動に見られる表現の多様性について－4，5歳児の造形表現活動からの一考察－　単著　平成30年3月　秋草学園短期大学紀要第34号<br>4. 子どもの興味・関心から始まるプロジェクト・アプローチ～音楽表現・造形表現・身体表現をつなぐ実践を通して考える～　共著 平成31年3月　秋草学園短期大学紀要第36号<br>5.日本の保育現場に生かすレッジョ・エミリアの幼児教育アプローチー　プロジェクトの実践からーその2　共著　令和4年3月　秋草学園短期大学紀要39号 | 造形表現 |
| 12 | 北洞誠一 | 教育学修士 | 1. 幼児体育の生活実践化にむけてー佐藤式健康体操を中心にーその2　共著　平成20年12月　秋草学園短期大学紀要25号<br>2. 幼児体育の生活実践化にむけてー佐藤式健康体操を中心にーその2　共同発表　日本幼少児健康教育学会第28回大会春季<br>3. 子どもの運動・表現遊び～動きを通して育むこころとからだ～　共著　平成22年5月　大学図書出版<br>4. 新版　保育内容　健康～遊びと園生活から育む豊かな心とからだ～　共著　平成25年3月　大学図書出版<br>5. 運動あそび・表現あそび　共著　平成30年9月　大学図書出版<br>6. 乳幼児・児童の運動遊びと表現遊び　共著　令和4年2月　大学図書出版 | 健康、健康（指導法） |
| 13 | 今井由美 | 修士<br>（心理学） | 1. アントニオ・ガウディの対人関係と死の観念に関する伝記分析　単著　平成21年8月　日本心理学会第73回大会発表論文集pp.41<br>2. 親の期待と子どもの自我発達の関連　単著　平成22年1月　立教大学心理学専攻・臨床心理学専攻論文抄録集pp.1-2<br>3. 保育園内における人間関係と向社会的行動の関連　単著　令和3年3月　秋草学園短期大学紀要第37号 | 子どもの理解と援助 |
| 14 | 橋本千鶴 | 修士<br>（カウンセリング） | 1.「オノマトペのイメージを共有する」 単著 平成25年11月 明治図書「実践国語研究」2013年10/11月号No.321　3頁（78頁）<br>2. 帰国児童教育学級におけるリーダースシアターの取り組み／オノマトペのイメージを共有し、楽しみながら語彙を広げる～谷川俊太郎「どきん」の実践から日本国語教師の会「欅の会」第390回（平成23年5月）/第402回（平成24年5月）<br>3. 教師・保育者のための教育相談　共著 平成29年9月　萌文書林<br>4. ともにつくる『ことば』の学習～授業実践からみた子どもたちの学ぶ姿　他お茶の水女子大学附属小学校 教育実際指導研究会「ことば」公開授業、実践報告（平成23・24・25年各2月）<br>5.「ことば」をつなぐ子どもたちの育成をめざして　単著 平成23年2月　お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会　児童教育21 | 言葉（指導法） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 15 | 駒木根　剛 | 修士(文学)、修士(ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾝﾃﾝﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ) | 1. いじめとは何か　―ペスタロッチーのもとで、ヘルバルトは子どもたちの姿をどう捉えたか―　単著　平成29年9月　日本ペスタロッチー・フレーベル学会第35回大会，茨城大学<br>2. 保育における現実とは何か―VR技術を使った保育内容(環境)の教材作成にあたってどのような可能性があるか　単著　令和3年9月　世界新教育学会国際教育フォーラム，玉川大学<br>3. 体験とは何か、保育者養成における VR 教材とその周辺を踏まえて　単著　令和4年9月　日本ペスタロッチー・フレーベル学会第39回大会，山口学芸大学 | 教育方法・技術論 |
| 16 | 今水　豊 | 修士<br>(心理学) | 1. 教育相談室における不登校児童・生徒の保護者面接　共著平成20年8月　日本心理臨床学会第27回大会発表論文集<br>2. 教育相談における連携の実際　共著 平成21年8月　日本心理臨床学会第28回大会発表論文集<br>3. 教育相談室と学校との連携・発達障害ケースを中心に　共著 平成22年2月　平成21年度教育相談研究紀要　中野区教育委員会<br>4. 教育相談から見えてきた“きょうだい”・家族の問題を映し出す存在　共著 平成23年2月　平成22年度教育相談研究紀要中野区教育委員会<br>5. 教育相談室から見える“不登校予備群”・子どものサインに気づくために　共著　平成24年2月　平成23年度教育相談研究紀要中野区教育委員会 | 教育相談 |
| 17 | 中村陽一 | 学術修士 | 1. 保育所における野菜の栽培に関する研究　単著 平成24年12月　秋草学園短期大学紀要第29号<br>2. 保育原理－保育士と幼稚園教諭を志す人にー　共著　平成26年6月　東信堂<br>3. 東京大学植物標本室(TI)から見出された牧野富太郎の写真　共著 平成28年12月　植物研究雑誌　第91巻<br>4. コンパス保育内容「環境」 共著 平成30年3月　建帛社<br>5. 短期大学入学早期の学生が、保育現場の環境及び保育を見学する意義　共著 平成30年12月　秋草学園短期大学紀要第35号 | 環境、環境(指導法) |
| 18 | 丸山哲弘 | 修士(芸術) | 1. ドン・ジョヴァンニと彼をめぐる3人の女性達の肖像ー演出面から見た表現と解釈の可能性ー　平成10年3月　武蔵野音楽大学 | 音楽・身体表現、音楽・身体表現(指導法) |
| 19 | 平山素子 | 家政学修士 | 1. 改訂新版 保育内容「健康」 共著　平成29年9月　大学図書出版<br>2. 生活習慣から見た「幼児の健康」について　単著　平成30年3月　　秋草学園紀要第34号<br>3. 乳幼児の健康「教育・保育に向けた計画と実践」 共著　令和元年9月　　大学図書出版全165頁<br>4. 新・子どもの食と栄養　共著　令和3年2月　みらい　全235頁<br>5. 子どもの食と栄養　共著　令和3年8月　光生館　全202頁 | 健康 |
| 20 | 小山玲子 | 修士<br>(こども学) | 1.保育者養成校における「乳児保育」の授業の在り方－学生の学びと理解についての調査から－共著　令和2年2月　子ども教育研究所紀要第15号<br>2.　乳幼児と安定した愛着完成を築く担当制保育と養成校での学びについて　単著　令和3年2月子ども教育研究所紀要第15号<br>3.　ミドルリーダーを中心とした園内研修の効果と園長の役割について　単著　令和4年2月　子ども教育研究所紀要第16号<br>4.　乳児保育の基礎と実践　共著　令和2年3月　大学図書出版<br>5. 保育実習(実習からの学びを広げ、深めるために) 共著　令和5年5月　萌文書林 | 保育・教育課程論 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 21 | 中塚良子 | 修士<br>(こども学) | 1. 戦後乳児保育史において丸尾ひさが果たした役割(単著)白梅学園大学院子ども学研究科修士論文<br>「働く母の会」と丸尾ひさの乳児保育実践研究-美濃部都政における無認可保育所助成金給付をめぐって-(単著),豊岡短期大学紀要「論集」第18号, 豊岡短期大学,令和5年<br>2.ハンガリー乳児保育園における保育士の専門性 ー 保育内容と保育士養成課程をもとに ー(単著)松山東雲短期大学研究論集第54巻, 松山東雲短期大学,2023<br>3.保育士養成校における『保育を語ることば』の獲得について(共著)松山東雲短期大学研究論集第55巻, 松山東雲短期大学,令和6年<br>4.昭和初期における集団主義思想と生活綴方教育 ー 保育実践に見る『集団』と『言葉』ー(単著)松山東雲短期大学 研究論集第55巻, 松山東雲短期大学,令和6年<br>5.保育者養成課程「保育内容総論」の授業改善に関する研究―保育の歴史的背景を学ぶことによる、学生の意識変容に着目して―(単著)貞静学園短期大学研究紀要第17号,令和7年<br>6.秋田美子の三歳未満児保育思想―戦後における保育内容と保育条件に着目して―(単著)東京社会福祉史研究第19号, 東京社会福祉史研究会,令和7年 | 保育・教育課程論 |

②地域保育学科

| No. | 氏　名 | 学　位 | 業　　績 | 担当授業科目 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 加賀谷崇文 | 修士<br>(人間科学) | 1. 事例で学ぶ保育のための相談援助・支援～その方法と実際～　共著　平成25年3月　同文書院<br>2. 保護者支援のできる保育者養成に関する研究:保育者養成校の学生に対する意識調査から　共著　平成27年3月　子育て研究<br>3. 保育相談支援の基本と留意点　共著　平成27年4月　大学図書出版<br>4. いちばんよくわかる図解臨床心理学　監修、共著 平成30年9月　成美堂出版<br>5. 保育の実践を支える理論と方法　共著　平成31年3月　ウエストン | 教育相談 |
| 2 | 橋本洋子 | 家政学士 | 1. 保育者養成課程における女子大生の栄養の知識と食事に関する研究　単著　平成27年3月　秋草学園短期大学紀要第33号<br>2. 食卓の生化学　第二版　共著　平成29年5月　医歯薬出版株式会社<br>3. 子どもの食と栄養　演習書　第2版　平成30年1月　医歯薬出版株式会社<br>4. 幼児期の好き嫌いと食嗜好の関連　単著　平成30年3月　秋草学園短期大学紀要第34号<br>5. 子どもの食と栄養　演習書　第3版　令和2年3月　医歯薬出版株式会社<br>6.　女子大生の食の安全に関する研究　ー食品表示の利用実態ー　単著　令和3年3月　秋草学園短期大学紀要第37号 | 健康 |
| 3 | 長谷川恭子 | 修士<br>(音楽教育) | 1. 江古田小学校における桜井富夫の譜読指導ー低学年に着目してー　単著　平成23年12月日本音楽教育学会『音楽教育学』 41(2)　1-12<br>2. 保育の表現技術実践ワークーかんじる・かんがえる・つくる・つたえるー　共著　平成28年3月　保育出版社<br>3. 幼児の音楽教育における「美しさ」の在り方に関する一考察　単著　平成28年3月　実践女子大学生活科学部紀要第53号 | 音楽・身体表現、音楽・身体表現(指導法)、保育・教職実践演習(幼稚園) |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4. わらべ歌遊びにおける幼児の音楽的成長について－異年齢保育でのコミュニケーションの分析をとおして－　単著　令和3年3月　秋草学園短期大学紀要第37号<br>5. 保育者養成校における教育・保育実習の学びへの取り組み－幼稚園実習前期から保育所実習前期への連携－　共同　令和3年5月　日本保育学会第74回大会（富山大学）（発表）<br>6. 遊んで育て！表現の力－保育で使える活動例と指導法－　共著　　令和4年1月　推敲舎 | |
| 4 | 伊能恵子 | 博士<br>（教育学） | 1.研究奨励賞受賞論文「保育所児童保育要録：子どもの育ちを支える資料の共有化をめざして」単著、平成23年3月、日本生活科・総合的学習教育学会<br>2.査読付学術論文「保小連携へむけて保育所に求められる支援」、単著、令和4年1月、日本保育保健協議会<br>3.実践奨励賞受賞論文「地域子育て支援：すべての子どもに食育を」、単著、令和5年2月、東京都地域公益活動推進協議会<br>4.著書『保育者のための0・1・2歳児の子育て支援ハンドブック』、単著、令和5年10月、中央法規出版<br>5.,著書『幼児教育・保育方法論』、共著、令和7年1月、教育情報出版 | 教育原理、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習（指導法）Ⅰ・Ⅱ |
| 5 | 秋山展子 | 修士<br>（社会福祉学） | 1. 江戸川区児童館における子どもの居場所対策の動向　単著 平成25年2月　秋草学園短期大学紀要第29号<br>2. 地域に生きる子どもたち　共著　平成26年5月　創成社<br>3. 新版 児童家庭福祉論　共著　平成27年4月　一藝社<br>4. 子育てとケアの原理　共著　平成30年4月　北樹出版 | 人間関係 |
| 6 | 星野治 | 修士（理学） | 1.「数」の「学」問としての数学(2)－数の「規則性」をどのように教えるか－　単著　平成24年12月　秋草学園短期大学紀要第29号<br>2.「数」の「学」問としての数学(3)－数“楽”演習の実例紹介－　単著　平成25年12月　秋草学園短期大学紀要第30号<br>3.「数」の「学」問としての数学(6)－科学技術における「環境」と保育における「環境」との相違－　単著　令和6年3月　秋草学園短期大学紀要第40号 | 環境、環境（指導法） |
| 7 | 味田徳子 | 学士（教育学） | 1. 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護15　共著　平成20年1月　㈱医学書院<br>2. 保育者養成校の学生における感染症対策の現状から「子どもの保健」「子どもの健康と安全」の授業内容の検討－母子健康手帳の学びを通して－　共著　令和元年　秋草学園短期大学　紀要36号<br>3. 生命（いのち）の安全教育の取組みに向けて～保育学生における「性教育」の意識調査～　単著　令和4年　秋草学園短期大学　紀要39号<br>4. 生命（いのち）の安全教育の取り組み<br>― 保育者養成校における教授法の一考察　―　単著　令和5年　秋草学園短期大学　紀要40号<br>5. 保育内容「健康」と指導法　考える・広がる・つながる　　共著　令和7年3月　中央法規出版（株） | 健康、健康（指導法）、保育・教職実践演習（幼稚園） |
| 8 | 三好力 | 修士<br>（心理学） | 1. 教員に求められる資質・能力の育成をめぐって－学びの振り返りを通して－　共著　令和2年3月　新渡戸文化短期大学こども教育研究所紀要　第15号<br>2. 領域「言葉」の指導法に関する研究－子どもの言葉を育む保育活動を通して－　共著 令和3年3月　新渡戸文化短期大学こども教育研究所紀要第16号<br>3. 子どもの言葉・姿にみる「道徳性」の育ち　単著　令和2年7月　日本国語教育学会国語教育研究№579<br>4. 子どもの言語感覚を育てるために　単著　令和3年5月　日本国語教育学会国語教育研究№589<br>5.他者との対話から生まれる探究的な学び　単著　令和4年5月　日本国語教育学会国語教育研究№601 | 教育相談 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 9 | 小口偉 | 修士<br>(芸術学) | 1.異年齢保育における造形表現活動からの一考察　単著<br>平成28年3月　日本美術教育連合日本美術教育論集49号<br>2.A保育園での造形表現活動からの一考察　単著<br>平成29年3月　日本美術教育連合日本美術教育論集50号<br>3.保育学生の乳幼児期と児童期における造形表現のイメージに関する研究(第一報)-保育実習を通した学びのイメージの変容に着目して-<br>4.保育者養成課程における総合的な表現活動の試み「表現」に関わる教科の連携と実践を通してその可能性を探る<br>5.養成校学生の就職先決定理由の分析-実習園を就職先とする事例に着目して- | 造形表現 |
| 10 | 塩崎みづほ | 教育学修士 | 1.『保育者養成における身体表現活動の題材選択の課題～ICTを活用した事例より～』(共著)令和5年3月　白梅学園大学・短期大学情報教育研究<br>2.『運動特性に応じた体育領域別ICT活用アイデア』(共著)明治図書、令和4年12月<br>3. 遊んで育て！表現の力－保育で使える活動例と指導法－ (共著) 令和4年1月　推敲舎<br>4. 乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび～からだとこころを育む指導法(共著)令和4年2月　大学図書出版<br>5. 身体表現遊びの指導ノートを活用した指導法の授業の成果　単著　令和2年3月　秋草学園短期大学紀要第36号 | 音楽・身体表現, 音楽・身体表現(指導法) |
| 11 | 大熊美佳子 | 家政学修士 | 1. 幼稚園教諭・保育士の成長過程に関する研究　単著 平成29年3月　秋草学園短期大学紀要第33号<br>2. グループワークにおける保育学生の協同作業認識と役割意識について　単著　平成30年3月　秋草学園短期大学紀要第34号<br>3. 子ども観と子育て観について－子育て経験の有無による比較－　共著　平成30年8月　日本パーソナリティ心理学会第27回大会, 立命館大学<br>4. 保育学生の学習継続動機づけ関する研究　単著 令和2年3月　秋草学園短期大学紀要　第36号<br>5. 保育・教育の方法と技術　Visual　Aid　ビジュアルエイド　共著　令和4年4月　大学図書出版 | 保育の心理学 |
| 12 | 今井由美 | 修士<br>(心理学) | 1. アントニオ・ガウディの対人関係と死の観念に関する伝記分析　単著　平成21年8月　日本心理学会第73回大会発表論文集pp.41<br>2. 親の期待と子どもの自我発達の関連　単著<br>平成22年1月　立教大学心理学専攻・臨床心理学専攻論文抄録集pp.1-2<br>3. 保育園内における人間関係と向社会的行動の関連　単著　令和3年3月　秋草学園短期大学紀要第37号 | 人間関係、人間関係(指導法)、子どもの理解と援助 |
| 13 | 浜名那奈 | 修士(文学) | 1. 世界の絵本・児童文学図鑑　共訳　平成23年10月　柊風舎<br>2. 映画にもTVにもなったファンタジー・ノベルの魅力　共著　平成25年12月　七つ森書館<br>3. ビジュアル版最新ファンタジー百科　共訳　令和3年9月　柊風舎<br>4. 保育者養成校における子育て支援の学びの在り方について　共著　令和7年3月　秋草学園短期大学紀要第41号<br>5. ちりめん本　海を渡った日本昔ばなし　共著　令和7年4月　東京美術 | 言葉、言葉(指導法)、保育・教職実践演習(幼稚園) |
| 14 | 武田真理恵 | 学士<br>(教育学) | 1. アイデアカード＆ギフトグッズ12カ月　単著 平成10年5月　黎明書房<br>2. 紙の工作大百科カードと小物をつくろう　単著 平成17年3月　あかね書房<br>3. かんたん！かわいい！イベントラッピングとカード　単著 平成30年12月　主婦の友社 | 造形表現(指導法) |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 4. とことんラッピングあそび　単著　令和2年7月　チャイルド社<br>5. こどもとおもちゃの関係性を多角的な視点から学ぶ　単著　令和7年3月越谷保育専門学校研究紀要　第14号 | |
| 15 | 小川勝利 | 博士（医学） | 1. 保育園が養成校に求めること～保育実習に焦点を当てて～ 平成30年　第2回日本保育者養成教育学会<br>2. 乳児、3歳未満児の保育が10の姿を育む～赤ちゃんの集団生活を通して～　令和元年　第19回日本赤ちゃん学会<br>3. 新型コロナ感染状況下の子ども・子育てを考える　令和2年　第12回日本子育て学会<br>4. 保育者との二者関係下と子ども集団における行動の相違～子ども集団が持つ力とは～　令和2年　第73回日本保育学会<br>5. 園行事が子育て支援において担う課題と役割　～保護者にとっての園行事とは～　令和3年　第13回子育て学会 | 保育者論 |
| 16 | 信田理奈 | 文学修士 | 1. 新たな時代のジェンダー・イシュー：性差と育児、科学と女性を問う　共著 令和2年4月　三恵社<br>2. STEM分野における女性研究者の論文生産性とキャリア形成：科学技術人材の多様性とイノベーションをめざして　単著　令和5年3月　秋草学園短期大学紀要第39号<br>3. デジタル社会におけるSTEM人材の多様性とイノベーション：理工系学部の「女子枠」選抜と女子大「工学部」設置の動きを通して　単著　令和6年3月　秋草学園短期大学紀要第40号<br>4. デジタル分野におけるジェンダー平等の可能性：民間のプログラミング教室の実態とIT技術者の意識を踏まえて　単著　令和7年3月　秋草学園短期大学紀要第41号<br>5. トランス女性の入学保障をめぐる動向と課題：多様性・包摂性の時代における女子大の意義と役割について　単著　令和7年3月　秋草学園短期大学紀要第41号 | 教育社会学 |
| 17 | 安達　敬子 | 修士（学術） | 1.「あしたもみんなで遊ぼうね」～子どもたちの「いきいきしさ」に生かされて　単著　平成22年 9月　フレーベル館　幼児の教育 第109<br>2. 文部科学省受託事業 インクルーシブ教育 システム構築モデル地域事業　「交流記録集」 共著 平成28年 3月　文部科学省・筑波大学　筑波大学附属大塚特別支援学校小学部編<br>3.「みんなをつなぐ自己紹介カード」 単著 平成28年 4月　明治図書 特別支援教育実践情報5月号<br>4. 知的障害特別支援学校中学部における「願い」を育む体験を重視した授業実践の検討　共著 平成31年 3月　筑波大学 学校教育論集第41巻<br>5. いっしょにいきる「障害とバリアフリー」子どもブックガイド　共著　令和4年11月 かもがわ出版　障害と本の研究会編 | 特別支援教育論 |
| 18 | 大嶋織江 | 修士（文学） | 1.Potential subject of practical environmental education for childcare workers to introduce the concept of life cycle thinking from early childhood　共著 令和2年10月　国際幼児教育学会第41回大会<br>2.ライフサイクル思考を取り入れた保育者向け環境教育プログラムの開発　共著　令和4年3月　第17回日本LCA学会研究発表会<br>3. 保育課程論でのアクティブ・ラーニングにおける一考察～ごっこ遊びを用いた保育者養成の方法について～　単著　令和5年3月　秋草学園短期大学紀要第39号<br>4. 保育者養成課程における科学絵本活用の可能性について～「環境Ⅰ」の授業での『しずくのぼうけん』の活動内容を例として～　単著　令和5年3月　秋草学園短期大学紀要第39号<br>5.保育者養成課程における子どもの科学概念醸成のための授業での取り組みー科学絵本『くうきはどこに？』の活動内容を例としてー　　単著 令和7年3月 秋草学園短期大学紀要第41号 | 保育・教育課程論 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 19 | 駒木根　剛 | 修士(文学)、修士(ﾃﾞｼﾞﾀﾙｺﾝﾃﾝﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ) | 1. いじめとは何か　―ペスタロッチーのもとで、ヘルバルトは子どもたちの姿をどう捉えたか―　単著　平成29年9月　日本ペスタロッチー・フレーベル学会第35回大会，茨城大学<br>2. 保育における現実とは何か――VR技術を使った保育内容(環境)の教材作成にあたってどのような可能性があるか　単著　令和3年9月　世界新教育学会国際教育フォーラム，玉川大学<br>3. 体験とは何か、保育者養成における VR 教材とその周辺を踏まえて　単著　令和4年9月　日本ペスタロッチー・フレーベル学会第39回大会，山口学芸大学 | 教育方法・技術論 |

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

(1) 教員養成に係る授業科目

①幼児教育学科(第一部・第二部)

履修モデル参照

②地域保育学科

履修モデル参照

(2) 授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

①幼児教育学科(第一部・第二部)

シラバス参照

②地域保育学科

シラバス参照

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること(令和6年度)

①幼児教育学科第一部
　卒業者数　76人　教員免許状取得者数　70人
②幼児教育学科第二部
　卒業者数　31人　教員免許状取得者数　26人
③地域保育学科
　卒業者数　58 人　教員免許状取得者数　57人

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること(令和6年度)

①幼児教育学科第一部
　卒業者数　76人　教員への就職者数　16人
②幼児教育学科第二部
　卒業者数　31人　教員への就職者数　2人
③地域保育学科
　卒業者数　58人　教員への就職者数　9人

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

(1) 教務委員会において、幼稚園教諭養成における社会からの要望を踏まえ、教職に関するカリキュラムの検討を行っています。また、実習委員会において、より効果的な実習に関する事項の検討を行っています。
(2) 前期、後期それぞれ学生による授業評価アンケート、及び教員による授業の相互参観を実施し、その結果を授業改善に活用しています。
(3) 教育実習については、事前に幼稚園の園長を招いて講話を聴いたり、実習後は次年度実習を行う学生を交えての「実習報告会」を開催するなどして、充実した指導を行っています。